

# In Succession to tradition Leap

校友会会報

No.  
30

発行：大阪学院大学校友会

平成25年4月1日発行

〒564-0011

大阪府吹田市岸部南1-19-15

ステューディオリバージュ

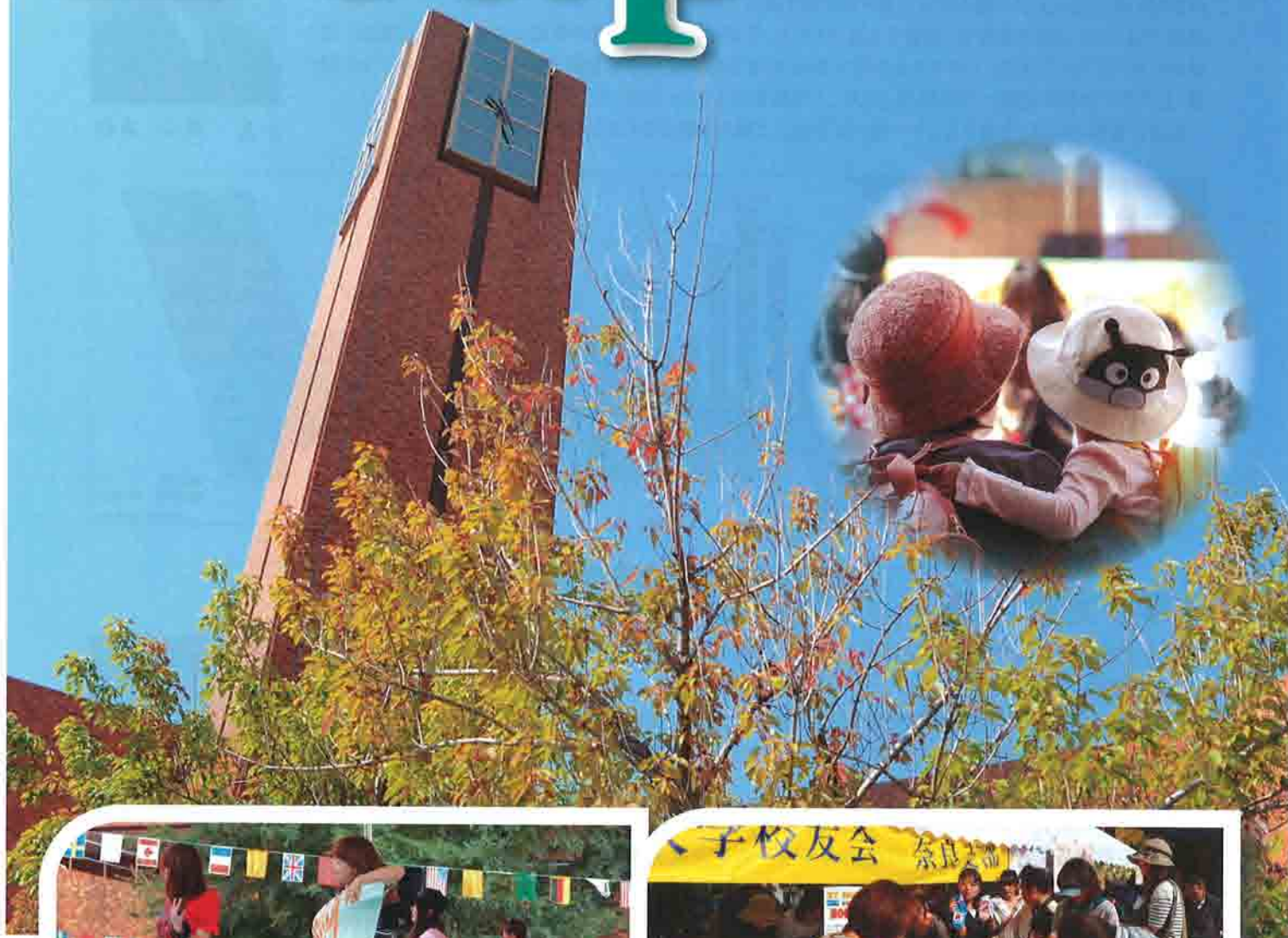
Tel 06-6318-3260

Fax 06-6318-3261

URL <http://www.ogu-koyukai.jp/web/>

E-mail [koyu@ogu.ac.jp](mailto:koyu@ogu.ac.jp)

「Leap」とは「飛躍」であり、校友会がさらなる発展を遂げるという意味が込められています。



## Topics

- 2 会長あいさつ/都道府県別校友会会員数/Campus News
- 3 各界で活躍するOB紹介(笑福亭 羽光さん、加藤 渉さん)
- 4 各界で活躍するOB紹介(森川 晃夫さん)/クラブ紹介
- 5 教員からのメッセージ/私のお勧めの一冊/大学人事
- 6 支部だより(岡山・徳島・京都・奈良・滋賀・広島・北陸・東海)

- 8 総会・懇親会報告
- 10 学生奨励金贈呈報告/全日本大学女子駅伝大会  
応援援助報告/陶芸無料教室案内
- 11 岸辺祭協賛報告/奈良・北陸支部模擬店出店報告
- 12 25年度総会・懇親会案内/特別ご招待

## 校友会からのお知らせ

校友会行事・支部活動・各種案内など、会報に掲載している内容以外にも、ホームページにおいて様々な情報を提供しています。是非ご覧ください。URL <http://www.ogu-koyukai.jp/web/>



## 会長あいさつ

若草萌える季節、会員の皆様にはますますご健勝のほどお喜び申し上げます。  
平素は校友会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
今年も約1200名の卒業生が母校を巣立ち、校友会新会員として迎えることが出来たことを心からお喜び申し上げます。

本会は1988年の発足以来、「会員相互の親睦を図り、母校の発展に貢献する」という理念のもと、会員の皆様のお力添えにより微力ながら様々な活動を続けております。

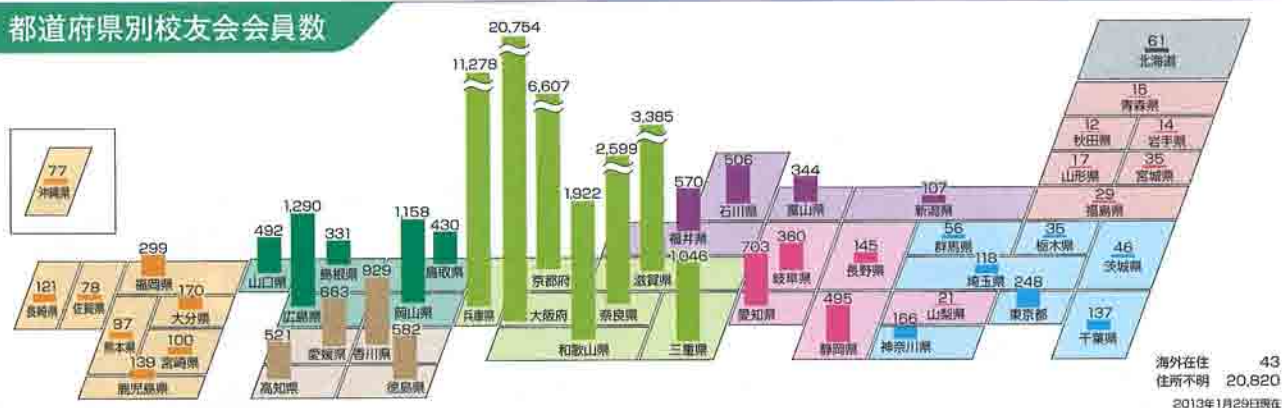
現在では全国に8支部を設立・運営する運びとなり、卒業生の皆様・地域の皆様との交流を更に幅広く積極的に行っていくと共に、これからも在学生対象の奨学金制度や学生助成金の給付、協賛イベントの開催、各クラブ団体の活動への援助等、充実した活動を行っていく所存でございます。

会員の皆様方には、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会長 岡本 寿和

### 都道府県別校友会会員数



## 入学予定者の集い

## Campus News

毎年3月中旬に入学予定者を対象にキャンパス内で「入学予定者の集い」を開催しています。

これは、新入生が入学前の不安や疑問を解消し、4月からの大学生活がスムーズに始められることを目的にしたプログラムで、今年で11回目を迎えました。

全体オリエンテーションの後、学部別の少人数に分かれ、ボランティア在学生数名が進行役となり、自己紹介やゲームで交流を深めるとともに、「高校と大学の違い」「時間割の組み方」「一人暮らしのヒント」など、様々なテーマでアドバイスをを行いました。



参加者からは「先輩達が楽しく教えてくれたので、入学する前に大学のことがわかった」「気になっていたことを聞けてよかった。高校とは違う部分があるけど、早く慣れて大学生活を楽しみたい」など、多くの感想が寄せられました。最初は緊張していた入学予定者も、イベント終了時にはお互いにアドレス交換をするなど、入学前に新たな友達づくりもでき、有意義な時間を過ごしました。

入学予定者には、この「入学予定者の集い」のほか、専用HPの開設や、意見交換を行うBBSの設置、図書館や千里山セミナーハウスの利用など、様々なサポートが用意されています。

今では、毎年入学予定者の約2割が参加する一大イベントとなっており、参加した入学予定者が2年目以降にサポート学生として手伝ってくれるなど、素晴らしい繋がりが広がっています。



\*写真は2012年開催の様子



# 各界で活躍する OB 紹介 OB's introduction

僕は在学中、落研(落語寄席研究部)に所属していました。その落研に部員が入らない為、去年廃部になったのです。

部室を空け放つ直前に学生課の御好意で入らせてもらいました。15年ぶりに見る部室は、荒れ果て、数年前に最後の現役部員が居た痕跡と、僕が現役大学生だった時の痕跡をわずかに残したまま、さびれていました。

仕事柄、地方によく行くのですが、そこでシャッター街を見た時と同じような、感覚を覚えました。かつて、栄え、人々が生活し、そして段々人が少なくなってやがて、さびしくなっていく場所...

そんな気がしました。

僕は卒業してすぐ上京し、“お笑い芸人”になりましたので、落研の衰退の歴史を見ては居ません。楽しかった全てが輝いていた大学時代を振り返るのが、何か昔を懐かしむ年寄りみたいでいやだったので、ほとんど大学にも部室にも遊びに来る事が無かったのです。

お笑い芸人だけではもちろん生活出来ないで、ビル管理人のバイトをやりながら、漫画の原作の仕事もしました。テレビにあまり出れないのなら雑誌に出よう...と考え、とにかく名前を売る為に、自分自身を主人公にした漫画を作り続けたのです。運がよかったのでしょう。集英社のヤングジャンプで週刊連載が決まりました。僕の高校時代を描いた自伝的ギャグ漫画『性的人間』です。一年で連載は打ち切られましたが、単行本は2巻出ました。

僕が8年漫画原作者を目指して、一番形になって連載まで出来た物は、僕自身の高校生活を描いた物だけでした。

つまり、僕の過去にあったのです。逆に言えば僕の過去(僕の内部)にしかなかったのです。

その頃から僕は自分の過去を振り返る様になりました。

漫画原作者に行き詰まり、お笑い芸人を辞めて、僕は34歳の時に落語家笑福亭鶴光に入門しました。

18歳で高校卒業してすぐ入門するのが普通ですから、大変な決意で



## 落語家 笑福亭 羽光

所属事務所  
落語家芸術協会 松竹芸能

本名/中村 好夫(なかむら よしお)  
平成7年卒

経済学部 経済学科

連絡先/090-9686-5298

携帯アドレス/  
nakamurayoshio@t.vodafone.ne.jp  
パソコンアドレス/  
syofukuteiukou@yahoo.co.jp

す。そして4年間前座修行というのをするので、大変でした。師匠や先輩の芸人達からよく言われたのは、縁を大事にしない。縁のある人とはちゃんと付き合いなさい...という事です。

落語の世界でも、過去を大切に、過去の縁を大切に、ちょっとでも関わった人を大切に...という教えを受けました。

僕は今、落語芸術協会という東京の協会の二つ目という身分です。

二つ目になって、大阪にもちょくちょく来る様になって、師匠や縁のある人達が僕を推薦してくれたので、すぐサンテレビ『おとなの子守唄』のレギュラーが決まりました。

この会報が出る頃まで続いているかどうか判りませんが、もし続いたらエロ番組なので、家族にはばれないようにこっそり観て下さい。

この手記を書かせていただけるのも、僕が大阪学院のOBだからです。

本当に今、過去僕が接した人達との縁をありがたく思います。

大阪学院で授業に出たり落研の部室に行ったりした思い出と、その時出会った人達との縁を大切にこれからも生きて行こうと思います。

これを読んでおられる、大阪学院大学OB、OGの方、もし落語会、イベントの司会、老人ホームの余興等ありましたら、学院つながりの縁でひとつよろしくをお願いします。

私の仕事は主力製品である住友重機械工業(株)製サイクロ減速機をはじめとした製品のメンテナンスおよび販売を行っております。

減速機とは、工場の生産設備や工作機械など、産業界の様々な場所で使われているモータの回転数や出力を調整するための、自動車のトランスミッションのような役割を果たす装置です。

世界有数のメーカーである住友重機械工業株式会社の中部地区最初の認定サービス店として、40年以上の実績と経験を活かしたサポート体制でお客様の信頼を得てきました。

メンテナンスといっても修理だけでなく、製品の取扱方法の説明やトラブル対処、また点検・診断、および長年お使いいただいた製品の更新や別製品への買い替えの相談などのご要望に応じています。



## 有限会社カトウ電機 常務取締役 加藤 渉

平成6年卒  
経済学部 経済学科

ホームページ/  
<http://www.kato-denki.net>

サービス営業活動の中で一番大事なことはいかに早くお客様が要求していることを察知し、問題を解決する為の道筋をたててあげられるかということです。

当たり前の事かもしれませんが、当たり前の事が当たり前にできるように今から学生みなさんも意識して、学生生活を送っててください。

本校を卒業してから、入社して様々な方とお会いし、出来、本校で学んだ学業以外の交友関係の方からも勉強させて頂き、今では「校友会 東海支部」の支部長をさせて頂いております。

東海地区の皆様!是非御入会頂き、卒業生の皆様で楽しい交流・成長をしましょう。



## 各界で活躍する

# OB 紹介

OB's introduction

みなさんこんにちは。平成10年に流通科学部を卒業し、阪急淡路駅前で「昭和湯」を経営している森川晃夫です。「銭湯」と聞くと男性のみなさんからは「一度でいいから番台に座ってみたい!」と言われる憧れの仕事?ですが、夕方から深夜までお客様の対応、温度調節、脱衣場の整理整頓、清掃と続き、家族そろって夕食を摂ることもままならない大変な仕事です。

私は、大阪学院大学高等学校を卒業し、流通科学部第1期生として本学に入学し、後藤登先生のゼミでマスメディア論などを学びました。在学中はテニス、スキーを楽しむ「BEANS」というサークルに所属し、企画、運営担当として様々な行事を計画したり、サークルの月刊誌を作成したりしていました。卒業後は一般の企業へ勤務していましたが結婚を機に退社し、曾祖父が昭和3年に長野から大阪にやってきて開業した「昭和湯」を祖父が引き継ぎ私で4代目です。

祖父の代に事業を拡大し、4軒の銭湯を経営するまでになりました。しかし時代の流れとともに生活スタイルが変わり昭和50年ごろ2,300件前後もあった大阪の銭湯は、今では670件程度となっています。森川家の4銭湯も、今営む「昭和湯」を除き、それぞれ介護施設やマンションへと変更しました。その関係もあり、今は不動産業と銭湯業の二足のわらじを履いているところです。

そのような変化のなか、多くの方に銭湯を利用いただくために、学生時代の経験を生かし様々な取り組みをはじめました。風呂屋のあるべき姿の一つとして親子が楽しい時間をすごしてもらおう場所でありたいと考え、湯船にアヒルのおもちゃを一杯浮かべる「アヒル風呂」を思い立ちました。常連のお客様の迷惑に成らない様に、最初は営業時間前の昼



森川商事株式会社  
取締役 森川 晃夫

平成10年卒

流通科学部 流通科学科

連絡先/06-6322-2645

メール/

teruo@morikawashoji.co.jp

URL/

http://www.morikawashoji.co.jp/

に実施しました。店前に大きなアヒルを置き、ボイを使った「アヒルすくい」や、アヒルの形に形成したタオルを販売したりとアヒル一色のイベントを数回開催しました。それなりに好評でしたが、通常営業までに2000個のアヒルを引き上げ、消毒する手間を考えるとかなり大変なので、もう止めようと思い、最後の記念に通常営業時間内に「アヒル風呂」をやってみました。すると常連のお客様にも初めて認知され、さらに産経新聞やMBSテレビで紹介されたこともあり、大勢のお客様の支持を得て、今では定期開催の大きなイベントとなっています。アヒルをきっかけに、アヒルグッズをお送りいただいたり、アフラックからも紹介の連絡をいただいたりと人のつながりのありがたさを感じています。

曾祖父が開業した風呂屋を残すため、これからの銭湯のあり方を考えたときに、単に風呂に入るだけの場所から、親子でくつろげる場所、そして今まで以上に近所の人のコミュニティの場となるよう願っています。そこでアヒル風呂に続く企画として考えているのが「朝営業」です。年配の方の生活リズムが朝型なので、午前中にご利用いただけるように検討しています。現在は土曜日のみ朝営業を実施していますが、これからはさらに拡大していきたいです。

「新」という漢字が、立っている木を斧で切り倒すというところ由来していることから、新しいことを始めるには今の概念を全て取っ払い、一から考えることが大事だと思っています。卒業生のみなさん、在学生のみなさん何事にも新たな気持ちでチャレンジしてください。きっと素晴らしい人生が待っていますよ。



## クラブ紹介

CLUB introduction

## チアリーダー部

私たちチアリーダー部「フェニックス」は、平成7年(1995年)、体育会系クラブ応援を目的に創部いたしました。この「フェニックス」というチーム名の由来は、大学発展の願いを託して学内に植樹された「フェニックス(ヤシ科の多年生植物)」と不死永世の象徴である「フェニックス(不死鳥)」の意味が込められています。

私たちは現在、併設高校チアリーダー部と同じチーム「フェニックス」として、ともに日々の練習に励み、大学主催で実施されるスポーツ応援会(クラブ試合応援)、式典等の学校行事や地域住民・官公庁等から依頼のある様々なイベントへの参加、競技とした「チアリーディング」の大会に出場しています。昨年度の競技成績としては「西日本選手権大会」において5位、「関西選手権大会」では準優勝し、この結果、出場権を獲得した「日本選手権大会(ジャパンカップ)」において11位、そして「全日本チアリーディング選手権大会」では27位という成績を収めました。

チアリーディングにおけるチア(CHEER)とは「元気付ける・勇気を与える・励ます」を意味し、「リーダー(LEADER)」とは「一人を意味するのではなく、メンバー全員が指導者」であることを表します。そして、チアリーディングという競技は、相手と闘うスポーツとは異なり、2分30秒という限られた競技時間の中で、元気・笑顔・技の正確性・完成度・難易度・スピード感など細則にわたる審査基準に沿って、「いかに見ていただく観客を魅了し、引き付けることができるのか」を競う表現競技のスポーツです。一見華やかな競技であり、大会出場は



常に新しい演技にチャレンジする絶好のチャンスとなるのですが、人の命を預かる団体競技であるため、日々の厳しい練習やトレーニング、さらにはメンバーお互いの信頼関係が欠かせません。そして部員全員の気持ちが一つになればノーミスは実現できると信じているため、満面の笑顔で演技を行なう際、頭上高くメンバーを掲げたり、ジャンプしたり、空中で回転したりと非常に難しい技に取り組む時でも傍から思われるほど不安に思うことはありません。またそれは、練習の時も試合の時も互いに声を掛け合い、「大丈夫! いける!」等と常に励まし合っているからかもしれません。

これからも、私たちは「人を明るい気持ちにし、勇気づけ、元気づけること」をモットーに学内外の諸行事への応援活動はもちろんですが、何としても全国大会優勝を目指してチーム力の向上に努めていきたいと思っております。今後ともOB・OGの皆さまもどうか温かいご声援をよろしくお願いいたします。



## ◎ 教員からのメッセージ

### 短期大学部になります

《大阪学院短期大学は》

大阪学院短期大学が2013年4月より大阪学院大学短期大学部となります。大阪学院短期大学は、1962年「関西経済学院短期大学」の名称で第1部(昼間)と第2部(夜間)を持つ経営実務科が開学されたのが始まりです。当初は第1部も共学でしたが、翌年に大阪学院大学商学部商学科が設置されると同時に大阪学院短期大学に改められ、さらに第1部を女子のみとした実学教育中心の高等職業教育機関として今日まで50年を歩んでまいりました。この間に約8千名を超える卒業生を送り出しております。

1987年には国際文化学科が増設され、2学科になる前年度の1986年、短大校舎1号館(地下1階、1・2階は教室、3・4階研究室と会議室)が完成し、一つの校舎内で教職員と学生が互いにフェイスツーフェイスで交わることができる、恵まれた教育環境が整いました。しかしながら、国際文化学科が2007年度入学生を最後に閉じられました。

経営実務科1学科となったその後、2007年度後期より1号館1階の短期大学事務室を閉鎖し、17号館教務課内に教務課短大が設置され、それに伴い教員も研究室を移動(2・5・17号館)致しました。現在、教室は1号館を含み、大学の校舎全体を使用しています。

《短期大学部 経営実務科に》

さて本学科は、2013年4月より「大阪学院大学短期大学部経営実務科」に名称を変え、新たな歩みを始めます。開学当時の少数教育の原点に戻り、定員50名で一人ひとりを大切に、ビジネス実務の修得を通じ、創造的で自立した人間の育成、ビジネスの現場で即戦力として活躍できる人材の育成を目指し、カリキュラムを現在の社会に対応した「顧客の視点:ホスピタリティマインド」に変えて、再スタート致します。

キャリア教育を強化し、IT教育からマナー・業界知識・技術までを実践的カリキュラムで学ぶと同時に、企業で一定期間就業体験をさせていただくインターンシップで職業観を身につけます。さらに簿記・会計のみならず販売・ファッション・医療事務関連まで幅広い専門資格を取得できる支援を科目との連携で充実させ、金融・販売・製造業・ブライダル・ファッションなど多彩な業界で活躍できる人材を育成する短期大学部になります。またさらに4年制大学への編入学も充実させていきます。

今後も社会に即応した女性のための2年制ビジネス教育の充実を図り、大阪学院大学短期大学部経営実務科として発展を目指してまいります。校友会の皆様には、ご理解と暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



経営実務科 教授  
廣藤 千代子

## ◎ 私のお勧めの一冊

書名:『破天 インド仏教徒の頂点に立つ日本人』

著者:山際 素男 発行所:光文社

(光文社新書)



国際学部 教授  
和中 幹雄

インドは仏教発祥の地であるにもかかわらず、2001年の国勢調査によると、ヒンドゥー教徒80.5%、イスラム教徒13.4%、キリスト教徒2.4%に対して、仏教徒は0.8%となっている。インド憲法第25条は、シク教やジャイナ教と並んで仏教をヒンドゥー教の宗派であるとみなしているため、ヒンドゥー教徒のなかに或る種の仏教徒が含まれている可能性はあるが、11億の人口のうち約800万というのは、極端な少数派であることに間違いはない。しかし、今、インド中部デカン高原のナグプールを中心として、インド各地に仏教徒が急増し、1億人を越えているということが言われている。

IT産業を中心として経済発展が著しいインドが、将来の近代化された社会を作ろうとするときに、今でも社会に定着しているカースト制度がネックとなる懸念がある。このようなカースト制度の外にいて、インドの独立をガンジーとともに成し遂げ、ネルー首相の下で初代法務大臣として、新憲法草案を起草したアンベードカルは、アウトカースト(不可触民)の出身であり、自由で平等で差別のない近代社会形成の基盤を仏教に求め、亡くなる2か月前の1956年10月14日に、ナグプールの町で約50万人の民衆とともに、仏教に集団改宗した人物であった。

しかし、アンベードカル亡き後、仏教は沈滞した。ところが、彼の死後12年を経た1968年、突如、このナグプールの町に一人の日本人僧が現われる。彼はその後40年以上にわたって、貧しい民衆と生活を共にしながら仏教徒や僧侶を育て、各地に寺を建立し、ヒンドゥー教を中心とした差別社会と戦っている。1988年にはインドに帰化し、当時の首相ラジヴ・ガンディーよりインド名アーリヤ・ナーガールジュナを授与される。この帰化日本人僧侶こそが、今、紹介しようとしているこの本の主人公の佐々井秀嶺である。

1935年に岡山県の片田舎に生まれた秀嶺は、青春時代に病気や色情因縁に悩み、日本全国を放浪し、3回の自殺未遂の末に、高尾山の薬王院で得度を受け、仏道に入る。

その後、3年に及ぶタイの寺院への留学とインド寺院での修行を終えて日本へ帰国しようとするその朝、白髪の老人が眼前に現われ、「我は龍樹なり。汝速やかに南天電宮城へ行け」という不思議な啓示を受ける。南天電宮城というのは南インドのナグプールらしいと知るや、帰国を断念し、翌日ナグプールに向かう。ナグプール(竜の都)は奇しくもアンベードカルが仏教に改宗した町であることを知る。77歳の秀嶺は、この地において今も健在であり、1992年に開始したブッダガヤー大菩提寺管理権奪還闘争(釈迦の菩提寺の管理権をヒンドゥー教徒から取り返す運動)を先頭に立って進めている。また、ナグプール近郊のマンセルの仏教遺跡(大乘仏教の祖である龍樹の遺跡と目される大遺跡)の発掘にも取り組んでいる。

秀嶺の生涯を描いた山際素男は、古代インドの大叙事詩『マハーバータ』の翻訳で知られている作家・翻訳家である。彼は、秀嶺に寄り添うように、その姿を活写している。600頁に及ぶ長編であるにもかかわらず、迫力ある筆致は、最後まで読者を魅了する。義理と人情を重んじ浪曲をこよなく愛する秀嶺の破天荒ではあるが真摯で正直な暖かい人柄とともに、秀嶺の周りに集う多くの貧しい民衆や仏教に関わる多くの政治家の姿を生きた生きた描いている。この本は、インドに生きる一人の僧侶の物語であるが、戦後日本の歩みやこれからの日本社会を考え直すきっかけを提供してくれる好著である。

## ◎ 大学人事

退職予定(平成25年3月31日付)

●法務研究科・法学部

野一色直人 教授

●流通科学部

梅本 修平 講師

●経済学部

杉本喜美子 准教授

●法学部

網永 肇 准教授

●外国語学部

石田 久 教授

●外国語学部

渡辺 一清 准教授

●情報学部

樹下 行三 教授

●企業情報学部

森本 憲夫 講師

●教育開発支援センター

中村 一郎 講師

(平成25年3月1日現在)



# 岡山支部

連絡先 折田譲司 会計  
(株)すし友内  
☎086-225-1078

## 岡山支部活動報告

桃の花の甘い香りが瀬戸内のそよ風に運ばれ、内海には金波・銀波が輝き、春の息吹きを感じられる季節になりました。

さて、大阪学院大学校友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝の事と存じます。平成24年7月1日(日)岡山プラザホテルにて第12回岡山支部総会及び親睦会を開催いたしましたところ、校友会本部より岡本会長等をはじめ、大学より角田学生部長、そして県外より各支部の役員様を含め46名の皆様の出席を頂き厚くお礼申し上げます。

また、来賓の方々から温かいご祝辞を頂き、大学の最新情報のお話、県外の方々との情報交換の場としても、岡山支部といたしましても大変感謝し、懇親を深める事が出来たように思います。

今年も、岡山県在住で興味がある方は、是非連絡先までご連絡をお願いします。



総会日程 平成25年6月30日(日) 岡山プラザホテル

# 京都支部

連絡先 山口裕平 支部長  
(株)ヤマグチ内  
☎075-841-0430

## 「清掃活動を行いました」

平素は大阪学院大学校友会京都支部の諸活動に何かとご協力を賜り厚くお礼申し上げます。観光シーズンが近づいてきた11月7日(水)、京都



支部のメンバーで二条城周辺を清掃するボランティア活動を行いました。世界遺産でもある二条城は大規模改修が始まっています。京都市が修理に必要な費用の約半分を寄付で賄おうと「一口城主」を募る計画を立てましたが、残念ながら低調なようです。寄付をすると、抽選で一日城主になれるそうなので、ご興味のある方は是非この機会にいかがでしょうか？

清掃活動を通じて地域の文化財を大切に、後世に遺していかなければとの思いを深めた1日となりました。



総会日程 平成25年7月7日(日) 京都国際ホテル

# 広島支部

連絡先 開地順一 幹事長  
☎084-922-8921

## 広島支部活動報告

校友会会員の皆様におかれましては、益々御健勝のことと存じます。

平成25年1月27日(日)「青冥」におきまして第五回広島支部新年会を開催いたしました。当日は本部より岡本会長と森田副会長にも御出席頂き多くの会員の皆様とともに新年を祝い会員相互の親睦を深めることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

広島支部では、様々な企画を考え会員の皆様に喜んでいただける支部活動を続けていく所存でございます。

これからも今まで同様、校友会の皆様の多数の御参加を心よりお待ち申し上げます。



総会日程 平成25年6月23日(日) ホテルセンチュリー21広島

# 滋賀支部

連絡先 仲野弘子 支部長  
☎077-573-3954

## 滋賀支部活動報告

校友会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、本支部の活動に対しまして、積極的にご参加いただき、また、ご協力賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本支部も皆様のご支援を受けて、7年目を迎えることができました。昨年度は本支部創立5周年記念して、びわ湖を周航する大型豪華客船の「ピアンカ」で開催させていただき、参加者の皆様からとても好評であったことから、平成24年度の総会及び交流会につきましても、びわ湖を周航する「MEGUMI (めぐみ)」で開催させていただきました。当日は、びわ湖の南部から出発し、北部に浮かぶ竹生島までクルージングを楽しみ、参加者の皆様に日本一大きな湖「びわ湖」を満喫していただきました。おかげさまで、岡本会長様をはじめ本部の皆様、大阪学院大学の先生方、各支部の皆様にも多数ご参加いただき、校友会会員の皆様の交流を深めることができました。

また、その他支部の活動といたしまして、ボウリング大会をはじめ、びわ湖岸を清掃するクリーン作戦など、会員相互の親睦活動やボランティア活動を展開して参りました。

今後とも、本部並びに各支部の活動を参考にしながら、引き続き魅力ある活動を展開していきたいと考えておりますので、みなさまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方、大阪学院大学の関係者の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。



総会日程 平成25年6月2日(日) 琵琶湖ホテル



# 北陸支部

連絡先  
農中康弘 支部長  
☎090-6278-5835

## エールよとどけ！

校友会北陸支部では、例年福井におきましてスーパーレディース駅伝大会が開催され、これに母校陸上チームが出場していることから、昨年に引き続き、本年度もチームの応援を行いました。

駅伝大会ではさらに、昨年10月28日に仙台市において開催されました、全国大学女子駅伝大会に出場する母校チームの応援にも参加させていただきました。

仙台市の応援参加につきましては、校友会本部から参加のお誘いを得まして、岸部発の応援バスが、北陸自動車道経由で仙台に向かうのに合わせ、福井インターチェンジで乗換させていただき形で、応援に加わっています。

大阪・関西方面から仙台での応援に向かうバスの行程は、大会前日の夕刻に出発し、大会当日の夕刻には仙台を出発し、翌日の朝に帰ってくるという、ちょっとマイルドな日程ではあるのですが、北陸地域の会員の皆様にはその気になれば十分に参加可能なスケジュールであると思われまふ。

仙台市内での応援スポットの設定は、陸友会の原田さんにもつばら地下鉄を利用する形で数カ所のコースを指定して頂きまして、後はひたすら「歩く」「小走り」で、選手たちを追いかけるといふ、参加した私たちにとってもスピリットな経験をさせていただいた、そんな母校チームの応援参加であつたと感じています。

また、昨年6月2日には金沢市宮球場において、アメリカンフットボールの北陸地区交歓試合に出場しました、母校チームの応援も行っています。

実際には、中々にこのような試合を観戦すること自体が、余りありませんので応援よりも試合に見入ってしまったのではないかと、少々申し訳ない気持ちも感じました応援でしたが、試合終了後の役員会では母校チームの活躍に大いに盛り上がり、有意義な応援参加であつたと考えております。

いずれの試合でも、母校チームは輝かしい戦績をものとし、私たち北陸支部会員のにわか応援団にもかかわらず声援が届いたものと、勝手に自負している次第です。

実は、確かに声援を送っているのは私たち応援団なのですが、母校チームの活躍を目の前にして、蜜恵の日々のあれから数年の私たち自身も応援されているような、そんな感じにさせられた若き母校選手の頑張りであります。

これからも、母校選手に変わることなくエールを送り続けたい、そんな願いの北陸支部の事業を紹介させていただきます。

北陸支部副支部長  
川岸正明  
(昭和47年 短期大学卒業)



総会日程 平成25年7月21日(日) ホテル金沢

# 徳島支部

連絡先  
楠本浩資 支部長  
☎088-625-5500

## 第11回徳島支部総会及び 国文祭参加イベント開催のご報告

平成24年6月17日(日)阿波観光ホテルにおきまして、第11回徳島支部総会および懇親会を開催しました。本年も大学並びに校友会本部から岡本会長様を筆頭に全国各支部の役員の方々にご参加いただきました。本年も校友会徳島支部一同より心よりお礼を申し上げます。



◆12月9日(日)徳島市シビックセンターホール(ゲスト・トークイベントの様子)

また、第27回国民文化祭が徳島県で開催され、徳島支部として地域への貢献と会員同士の交流と親睦及び母校の発展を期して「とくしま国文祭応援事業」に賛同し、徳島ゆかりの映画を集めたイベント「とくしま映画まつり」を開催しました。当日は、会員の方以外にも多くの一般の方の来場者がありました。母校を知っていただけた一日となればと願っております。イベント終了後には、本部岡本会長様をお招きして打ち上げを兼ねての忘年会を開き、皆様と今年一年の労を労いました。これからも、支部活動への沢山の方のご参加を徳島支部一同心よりお待ちしております。

徳島支部ブログ  
<http://ogu22blog110.fc2.com/>



総会日程 平成25年6月16日(日) 阿波観光ホテル

# 東海支部

連絡先  
加藤渉 支部長  
☎090-4088-2399

## 東海支部活動報告

こんにちは！東海支部です。

愛知・岐阜・三重の三県からなる本支部は、まだ出来立ての若い支部です。その為かとても活発に活動しています！地元の名所とても土地の人はあまり行かないものですよね。

でもそんなの勿体ない！地域の魅力を改めて再発見しようと、本支部では「地域文化講座」を行っています。

昨年度の第一回は「徳川園・徳川美術館」鑑賞会。尾張徳川家ゆかりのお庭、ひな人形など素晴らしい調度品を堪能しました。続く懇親会での嫌御膳は、参加者の皆さんにも大好評でした。

第二回目は、子供の頃の夢と思い出をもう一度「リニア・鉄道館」見学会とナゴヤキャッスルホテルで昼食・懇親会。

いずれの講座も内容が濃く、お得にお値打ちに地域の文化に触れられるので、まだ参加された事がない卒業生の皆さんは次の機会にぜひ一度ご参加下さい。

また、その他年間の福祉活動として「ベルマーク収集」を行っています。身の回りにあるベルマークを集めて学用品等を購入する事が出来ます。被災された東北の子供達の為に寄付しましょう。他地域の校友会の方々も東海支部まで送って下さい。宜しくお願い致します。

本学在校生の皆さん、他地域の皆さん、東海三県にいらした折には東海支部会員になってぜひ一緒に活動しましょう！お待ちしております。



総会日程 平成25年6月9日(日) ウェスティン名古屋キャッスルホテル

# 奈良支部

連絡先  
中井二上 支部長  
☎0745-48-4880

## 奈良支部活動報告

桜花爛漫の候、校友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成24年7月8日(日)12時より、第6回奈良支部総会及び懇親会を橿原ロイヤルホテルで開催致しました。

当日は、大学より角田学生部長をはじめ多数のご臨席を賜わり、盛大に開催されました。

懇親会では、マジックショーやカラオケやビンゴゲーム大会が大変好評でした。

9月2日(日)には、ボランティア活動として「ならクリーンアップキャンペーン」に総勢20名で参加致しました。

橿原神宮付近をベストジャンパー(新しい大阪学院大学校友会の夏用ユニホーム)を着用して新鮮な汗を流しました。

10月21日(日)は第51回岸辺祭に奈良支部として初めて奈良県の特産品を集めて販売致しました。

特に靴下の詰め放題は爆発的な人気があり、子供達に人気が高い「あてもの」が完売いたしました。

奈良支部では卒業生の魅力ある校友会支部活動を目指しています。

今年の総会・懇親会には多くの卒業生のご参加をお待ちいたしております。



総会日程 平成25年7月14日(日) 橿原ロイヤルホテル

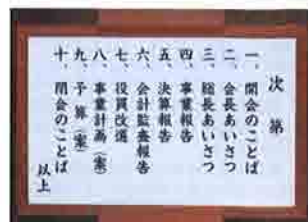


## 平成24年度 総会開催報告

平成24年5月19日(土)正午より母校大阪学院大学本館7階ホールにおいて、校友会総会が開催されました。

富田幹事による司会進行で、森田副会長より開会の挨拶を頂きました。

議長には橋本副会長、書記には辻幹事・原田幹事が承認され、次の通り議事が進行しました。



### 事業報告について

議長指名により、森田副会長から次の通り報告があった。

1. 会報(第28号)を平成23年4月1日付で発行
2. 平成23年度大阪学院大学校友会総会・懇親会開催
3. 校友会入学奨励金支給
4. 学生奨励金支給
5. 校友会奨学金支給
6. 卒業記念品を作成し平成23年9月および平成24年3月卒業生に配付
7. 徳島阿波踊りに参加
8. 岸辺祭に協賛

### 会計監査報告について

決算報告に引き続き、議長指名により黒石監査役から平成24年4月23日(月)、黒石・石原両監査役により監査を行った結果、正確に執行されているとの報告があった。

### 平成24年度事業計画(案)報告について

議長指名により安部副会長から平成24年度事業計画について説明があった。

### 平成24年度予算(案)について

議長指名により前野会計から配布資料「平成24年度大阪学院大学校友会予算書(案)」に基づき説明があった。



各議事について報告・説明の後、質疑応答があり、議長から承認を求め全ての議題が満場一致の拍手をもって承認されました。

以上により本総会の議事を終了し、司会者から総会出席者に対し審議協力の謝意が述べられ閉会となりました。総会後は出席者の記念写真が本館前にて行われ、懇親会へと移動されました。

## 懇親会の様子

総会終了後はクリアランス('03メジャーデビューした卒業生のユニット)のオープニングセレモニーで始まり、橋本副会長の挨拶、角田学生部長より祝辞、森田副会長の乾杯の発声を頂き、歓談のひと時を過ごしました。

今年からは入学奨励金の授与式があり、卒業生の親御さんと新入生へ目録をお渡しいたしました。参加者の方々より新入生へ温かいエールが飛び、緊張していた新入生も照れ笑いになっていました。また、恒例のチアリーダー・吹奏楽部の皆さんによるアトラクションや合奏を披露して頂き、在校生の皆さんの活躍ぶりも感じることが出来ました。

今年度も卒業生の交流の場として、昭和42・57年の卒業生を懇親会にご招待させて頂きました。皆様には大変喜ばれており、これからも益々校友会を盛り上げて参りますので、是非ご参加下さい。





# 平成 23 年度大阪学院大学校友会決算報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額
会 費 収 入	32,595,000	36,390,000
受 取 利 息	0	1,771
校友会維持基金取崩収入	15,000,000	15,000,000
雑 収 入	0	156,000
前 年 度 繰 越 金	2,037,615	2,037,615
合 計	49,632,615	53,585,386

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額
校 友 会 維 持 基 金	0	0
校 友 会 奨 学 基 金	0	0
校友会館建設特定預金	0	0
校 友 会 奨 学 金	1,250,000	1,250,000
入 学 奨 励 金	3,000,000	900,000
学 生 奨 励 金	500,000	150,000
会 議 費	300,000	143,865
事 務 費	220,000	184,800
慶 弔 費	100,000	120,950
総 会 費	2,000,000	1,647,618
会 報 費	2,500,000	2,678,550
通 信 運 搬 費	3,200,000	2,543,221
支 払 手 数 料	100,000	56,228
旅 費 交 通 費	3,800,000	3,395,728
卒 業 記 念 品 費	2,000,000	1,969,317
支 部 助 成 費	8,200,000	7,648,426
備 品 購 入 費	50,000	0
保 険 料	50,000	32,130
水 道 光 熱 費	300,000	260,928
行 事 協 賛 金	4,000,000	3,667,923
事 務 機 使 用 料	400,000	385,980
図 書 費	50,000	47,100
賃 借 料	3,906,000	3,906,000
人 件 費	8,000,000	6,766,978
印 刷 製 本 費	200,000	19,110
消 耗 品 費	500,000	503,151
修 繕 費	50,000	39,690
委 託 費	630,000	0
雑 費	1,000,000	1,027,045
予 備 費	1,000,000	700,492
小 計	47,306,000	40,045,230
収 支 差 額	2,326,615	13,540,156
合 計	49,632,615	53,585,386

## 財 産 目 録

### 資産の部

平成24年3月31日

科 目	金 額 (円)	備 考
流 動 資 産	(28,655,862)	
現 金	337,494	
普 通 預 金	20,067,360	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行吹田支店他3行
郵 便 貯 金	1,008	岸辺駅前郵便局
郵 便 振 替	8,250,000	岸辺駅前郵便局
固 定 資 産	(18,163,380)	
建 物 付 属 設 備	14,010,500	校友会事務所内装・電気工事費(注1)
敷 金	4,000,000	(南)オクダファミリー 預け入れ
電 話 加 入 権	152,880	(06)6318-3260,(06)6318-3261
合 計	46,819,498	

(注1) 建物付属設備の取得合計額14,010,500円の償却累計額は12,494,561円である。

### 負債の部

科 目	金 額 (円)	備 考
流 動 負 債	(900,000)	
未 払 金	900,000	入学奨励金9名分
合 計	900,000	

# 平成 24 年度大阪学院大学校友会予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

## 収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
会 費 収 入	35,415,000	大学 @15,000円×1,198名(1,316名×91.0%)=17,970,000円 @15,000円×1,090名(1,198名×91.0%)=16,350,000円 短大 @15,000円×38名(41名×92.0%)=570,000円 @15,000円×35名(38名×92.0%)=525,000円 在籍者大学・短大とも平成24年4月1日現在数に基づく。
受 取 利 息	0	預金利息
校友会維持基金取崩	0	
前 年 度 繰 越 金	13,540,156	
合 計	48,955,156	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
校 友 会 維 持 基 金	0	
校 友 会 奨 学 基 金	0	
校友会館建設特定預金	0	
校 友 会 奨 学 金	1,250,000	@250,000×5人
入 学 奨 励 金	3,000,000	
学 生 奨 励 金	500,000	
会 議 費	300,000	
事 務 費	250,000	
慶 弔 費	100,000	
総 会 費	2,000,000	
会 報 費	2,300,000	会報第29号印刷代等
通 信 運 搬 費	3,200,000	総会案内・会報発送代金・電話料金等
支 払 手 数 料	100,000	
旅 費 交 通 費	3,500,000	
卒 業 記 念 品 費	3,000,000	
支 部 助 成 費	8,200,000	
備 品 購 入 費	50,000	
保 険 料	50,000	火災保険料
水 道 光 熱 費	300,000	
行 事 協 賛 金	2,500,000	
事 務 機 使 用 料	500,000	
図 書 費	50,000	
賃 借 料	3,906,000	@325,500×12
人 件 費	7,000,000	
印 刷 製 本 費	100,000	
消 耗 品 費	400,000	
修 繕 費	50,000	
委 託 費	157,500	
雑 費	1,000,000	
予 備 費	5,191,656	
合 計	48,955,156	

## 基金繰入内訳表

平成24年3月31日

科 目	金 額 (円)	備 考
校友会館建設特定預金	349,600,000	みずほ銀行吹田支店他1行
校友会維持基金	42,510,017	岸辺駅前郵便局 りそな銀行吹田支店他1行
校友会奨学基金	134,600,000	みずほ銀行吹田支店他2行
校友会名簿負担金	0	
合 計	526,710,017	

平成23年度収支決算書・財産目録・基金繰入内訳表を上記のとおり報告いたします。

平成24年4月23日

会 長 岡本寿和 謹  
会 計 高田 純一 謹  
会 計 小松久美子 謹  
会 計 上村 健吾 謹

## 監 査 報 告 書

大阪学院大学校友会 平成23年度収支決算書・財産目録・基金繰入内訳表、  
各項の調査を遂げ、その正確なることを認定いたします。

平成24年4月23日

監 査 役 黒石健弘 謹  
監 査 役 石原淳行 謹



## 学生奨励金贈呈報告

毎年、優秀な成績で全国大会などに出場したクラブ、本校の為に慈善事業をした団体に対し、校友会から学生奨励金を贈呈しています。



月 日	クラブ・団体名	大会・主催者名
H24年 7月4日	硬式庭球部	全日本学生テニス選手権大会
H24年 7月4日	バスケットボール部	第62回 西日本学生バスケットボール選手権大会
H24年 10月22日	エコ推進隊	岸辺祭りユース食器推進
H24年 11月30日	陸上競技部	第30回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会
H24年 12月12日	バスケットボール部	第64回 全日本大学バスケットボール選手権大会
H24年 12月26日	ラグビー部	第63回 全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会

## 本校卒業生 陶芸家 中井 二上氏による 陶芸無料 教室開催



内 容: 一人一点製作します。(皿などを予定)当日は形成までで、焼成後の作品は、引き取りまたは送付(各自負担)となります。

日 時: 平成25年8月4日(日)・5日(月)・6日(火)

14:00~16:00 いずれか一日で現地集合

場 所: 「二上窯まんだら焼工房」 ☎0745-48-4880

奈良県葛城市染野123番地

※近鉄南大阪線「当麻寺」駅下車 徒歩約10分 駐車場有

対 象: 在学生・卒業生および家族(各日10名様)

お申込: 7月26日(金)までに校友会事務所へ

ご連絡ください。 ☎06-6318-3260

## 第30回全日本大学女子駅伝で 5位入賞! 悲願のシード権獲得!

平成24年10月28日に仙台市で開催されました第30回全日本大学女子駅伝対校選手権大会に4年連続19回目の出場。2時間8分21秒の大幅なチーム記録で過去最高順位8位を更新する5位入賞を果たすと共に来年の出場権が得られるシード権(6位以内)も獲得しました。

関西予選会では、前年全国優勝の立命館大とシード校の京都産業大に競り勝ち94年以来的2位で全日本出場を決め、応援の方も初のシード権獲得に期待が膨らみ、昨年より1台増の3台の応援バスで大学職員、吹奏楽・陸上競技の各部員達、一般学生、陸上競技部OBと分乗し大学を出発、福井北ICから北陸支部の川岸副支部長と佐野監査役も乗車され78名の応援団で仙台市に到着。現地で合流した岡本会長と共に6班に分かれ各地点で熱い声援を選手達に送りました。



オール1年生で挑み屈辱の繰り上げスタートとチームワースト順位から3年、当時の悔しさを経験した4年生が主力となりシード権獲得という最高のプレゼントを後輩部員達に残してくれました。昨年5年ぶりに予選会を突破し、びわ湖駅伝出場を果たしてシード権獲得まであと一つの9位まで躍進した男子部員達も含め、志水監督、弘コーチの厳しい指導のもと、チーム一丸で更なる上の目標に向けて今シーズンも好成績が期待されます。



# 大阪学院大学・大阪学院短期大学 第51回岸边祭「New phase」

平成24年10月19日(金)～21日(日)

テーマ「New phase」～新たな一歩を踏み出そう～

10/21(日)に校友会はキッズショーを協賛!!

平成24年10月21日(日)秋晴れの中、今年はいつもより少し早い開始時間に関わらず、ショー開始前から大勢のご家族連れに来ていただき、大盛況となりました。毎年恒例になっている

キッズショーは、「それいけ!アンパンマンショー」と「仮面ライダーフォーゼ&オーズ キャラクターショー」の2本立てを

午前・午後の各2回の公演で、ショー終了後はキャラクターとの写真撮影があり子供たちは大喜びでした。

仮面ライダーショーでは子供たちだけでなく、パパ達大人もくぎづけになるくらい楽しんでおられました。

また、今年は本部のジュース販売や奈良支部・北陸支部による模擬店出店の協賛もあり、前日から準備のため遠い所から来ていただき初の模擬店に力が入っていました。他支部からも応援に駆けつけくださり、本部スタッフと共に設営や人員整理など手伝っていただき、新たな試みでしたが盛況の中、終了することが出来ました。これからも、校友会では地域のみなさまに喜んでいただける活動を続けていきたいと思っています。

今年の岸边祭は、10月第3週末に開催予定です。

是非、遊びにいらして懐かしいキャンパスであの頃に戻ってみてはいかがでしょうか?

みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

## ◎～奈良支部～

“靴下の詰め放題、奈良漬け、

三輪そうめんなど奈良名産の販売”

奈良支部会員の靴下屋さんが模擬店出店の協賛に一役かってくださり、500円で靴下詰め放題!! にたくさんの方が袋詰め夢中になっていました。子供向けに当てものがあったり、おたのみ袋があったりでみなさまに喜んでいただけたと思います。

## ◎～北陸支部～

“チューリップ球根、九谷焼、お米など北陸名産の販売”

北陸支部役員でお米を作っている方が、美味しい新米を格安で提供してくださいました。キロ売りでお求めやすく、やはり主婦層の方には人気でした。北陸からやって来たチューリップの球根は、きっと今頃きれいな花を咲かせていることでしょう。





大阪学院大学校友会

# 総会ならびに懇親会 開催案内

日時:平成25年5月18日(土)

総会:大阪学院大学本館7階ホール  
12:00~(受付11:30~)

懇親会:大阪学院大学14号館02-01教室  
13:00~(受付12:30~)

会費:一家族につき3,000円(当日徴収)

\*平成24年9月、平成25年3月に卒業された新会員の方は無料です。



<お願い>

ご出席の場合は平成25年5月9日(木)必着で、同封のハガキにて返信お願い致します。

懇親会では現役クラブ生によるアトラクションやイベント、お子様コーナー、料理コーナーを設けておりますので、ご家族揃ってお楽しみいただけます。是非、ご家族お誘い合わせの上お越しください。

## 特別ご招待 昭和43・58年の卒業生の皆様へ

平成25年5月18日(土)の懇親会にご招待します。(会費無料)

校友会では、多くの卒業生の方々に校友会活動を知って頂き、会員相互の親睦をより一層深めていただきたいとの思いから、卒業30・45年目を迎えられる皆さまに是非懇親会にご参加いただきたいと願っております。

そこで本年は、昭和43・58年の卒業生の皆さまをご招待することといたしました。

久しぶりとなる母校を訪ね、校友の皆さまと楽しい交流のひとつを過ごされませんか？

なお、校友会では今後も、卒業30・45年目を迎えられる皆さまを順にご招待いたしますので、同窓生お誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

\*本年度は、昭和43・58年にご卒業の皆さまは、校友会費の納入状況に関係なく無料でご招待します。  
なお、卒業年に関係なく参加費をお支払いいただければ卒業生ならびにご家族は、どなたでも懇親会への参加は可能です。

<お問合せ>大阪学院大学校友会 TEL(06)6318-3260 E-mail: koyu@ogu.ac.jp

### 日本学生支援機構(旧・日本育英会)からのお知らせ

日本学生支援機構(旧・日本育英会)の奨学金を返済されている方(卒業生)で、経済的困難により返還が困難になった場合は「奨学金返還期限猶予願」もしくは「奨学金減額返還願」を日本学生支援機構に提出してください。

返還期限猶予・減額返還制度・願出方法の詳細については、

ホームページ<http://www.jasso.go.jp/>または、電話(ナビダイヤル:0570-03-7240)でご確認ください。